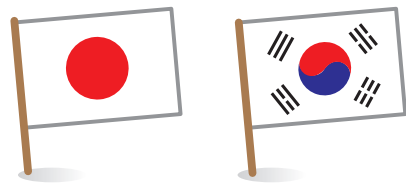




第15回日韓青少年冬季スポーツ交流事業報告



2002年サッカーワールドカップ大会の日韓両国の共同開催決定を機に、両国の親善と友好を一層深め、更にはスポーツの振興を図ることを目的に本事業がスタートしました。

岩手県では、2015年(第13回)に引き続いての実施となり、氷上競技の受入・派遣に約100名の中学生が参加しました。

受 入

受入事業では、各競技団体が会場運営を行い、期間中の日本・韓国両チームでの合同練習や親善試合、記録会を実施しました。

韓国選手団は、その年代の韓国トップの選手やチームが参加しており、競技レベルは非常に高いものであった。参加した選手にとって、同年代の選手からいい刺激を受けるとともに、指導者にとっても新たな指導法などを学ぶ機会となったようだ。

期間中は同じ宿舎で過ごし、競技以外の部分でも交流を図ることができ、より一層互いの親善と友好を深めることができました。

- 期 日 平成29年1月8日(日)～14日(土)
- 会 場 盛岡市(岩手県営スケート場、
みちのくコカ・コーラボトリングリンク)
花巻市(石鳥谷アイスアリーナ)
- 競 技 スケート
(スピード、ショートトラック)、
アイスホッケー、カーリング





派遣

受入事業に参加したほとんどの選手が引き続き派遣事業にも参加しました。初めての海外渡航となる選手も多く、パスポートの取得から準備が始まりました。

韓国での練習では、ショートトラックの現役韓国代表選手や五輪金メダリスト、アイスホッケーのアジアリーグ選手などトップ選手による指導を受けることもできました。

スピードスケートでは国際大会も行われるような大きな会場で記録会を行い、大画面に自分の記録が映されたことは、これまでにない経験となりました。

競技以外の部分でも文化探訪・体験を通じて、韓国の歴史や文化を学ぶことができました。

- 期 日 平成29年2月21日(火)～27日(月)
- 会 場 大韓民国・ソウル特別市
(泰陵国際スケートリンク、
泰陵アイスリンク、木洞アイスリンク)





今回の事業を通じて、改めてスポーツの持つ力、子ども達も持つ可能性を実感した。「スポーツに国境はない」というが、合同練習で互いに指摘し合ったり、記録会・親善試合で自然と応援する姿はまさにそうであった。また、選手達は言葉が通じない中、身振り手振りのジェスチャーや片言の英語で積極的にコミュニケーションを取り、友情を育んでいた。今回の事業の参加者の中から、将来の日本、韓国それぞれの代表選手が出ることを期待している！



TASTE THE FEELING®



みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
 MICHINO-KU COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ株式会社)
<http://www.michinoku.ccbc.co.jp>
 Coca-Cola is The Coca-Cola Company の登録商標です。

Iwate Amateur Sports Association 体協いわて No.80